

光村図書は、 「いじめ問題」を どう扱ってるの？



いじめは、どの学校でも起こる可能性のある問題です。
子どもたちが授業の中だけにとどまらず、自分のこととして
いじめ問題について考えられるようにすることで、
いじめの防止と解決につなげたい。
光村図書では、次の3つのことを大切にしました。



いじめについて、じっくり考える

「いじめ問題」について、複数時間かけて考えられるユニットを配しました。
一つの見方にとどまらず、多面的なアプローチでいじめを許さない心を育てます。



さまざまな観点からいじめと向き合う

いじめそのものについて考えるほか、自分を大切にすることや、
自他の命と向き合うことから、いじめを意識できるようにしました。



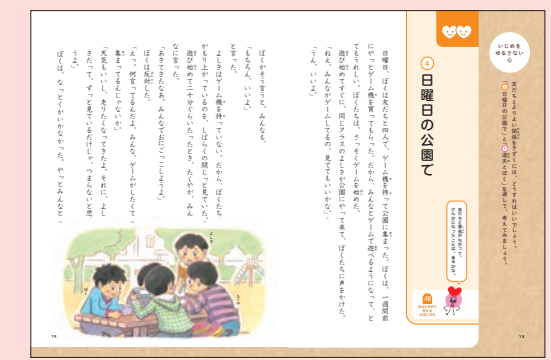
友達とよりよい関係を築く

友達とよりよい関係を築くために、どうすればよいのか。
具体的な行動に結び付けられるようにしました。



いじめについて、じっくり考える

1・2年は新しい学校やクラスでの生活に慣れてくる9・10月に、3～6年はクラス内の人間関係が形成されていく5・6月に、ユニット「いじめを許さない心」を設けました。複数時間かけて、**児童一人一人がじっくり**といじめについて考えることができます。



3年「4 日曜日の公園で」p.18-21



3年「5 道夫とぼく」p.22-25



3年「コラム 友だちとのかかりについて考えよう」p.26-27

例えば3年では、相手と意見が対立したときどうすればよいかを考えた後、誰に対しても分け隔てなく接することについて考え、最後にコラムで友達とよりよい関係を築くための方法を学びます。

3年 目次	
1	どうとくが始まるよ
2	あいさつ名人
3	きらきらカード
4	日曜日の公園で
5	道夫とぼく
6	よこれた給
7	友だち屋
8	教えてあげる？ 持ってあげる？
9	やめられない
10	インターネットにむちゅう
11	マリゴールド
12	生きている仲間
13	ヤゴきゆう出大作戦
14	里山を守る
15	大切なものは何ですか
16	黄金の魚
17	三人の仕事
18	きまりのない国
19	なんたろう なんだろう
20	三年元氣組
21	言わなきゃ
22	なあとからのしつもん
23	モンたんとケロきち
24	とくじーのおまじない
25	ふるしき
26	学びのじゅんび
27	まわりを見つめて
28	マサラップ
29	親切がいっぱい
30	くらしの中のユニバーサルデザイン
31	学びのじゅんび
32	「わたしらしさ」をのばすために
33	学校のふどう
34	ボールのきまり
35	よわむし太郎
36	漢字に思いをこめて
37	ありがとうの気持ちをこめて
38	ヌチヌグスー——命の祭り
39	スーパーパーティシエ物語

2 さまざまな観点からいじめと向き合う

いじめのユニットの他、「A 個性の伸長」や、「D 生命の尊さ」の教材など、1年間を通して、児童がいじめを許さない心を育むことができました。

3年「19 三年元氣組」p.100-103



自身の個性を伸ばすことについて考えます。(個性の伸長)

3年「8 教えてあげる？ 持ってあげる？」p.44-47



優しさとは何かについて考えます。(親切、思いやり)

教材1

教材2

コラム

3 友達とよりよい関係を築く

友達とよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力。その力を、具体的な活動の中で育めるよう、「心を通わそう」というソーシャルスキルトレーニングのページを、全学年に設けました。新しい人間関係が作られる5・6月に配置し、児童が学校生活の中で取り組めるようにしました。

心を通わそう

「ぼかぼか言葉」を掛けて
なかよくなろう

友だちとなかよくなるために、友だちのすてきなところを見つけて、「ぼかぼか言葉」をかけてみましょう。

1 「ぼかぼか言葉」って、どんな言葉？

「ぼかぼか言葉」は、だれが聞いてもうれしくなつて、心が温かくなるような言葉です。どんな言葉があるか、考えてみましょう。

がんばって
いるね。
すごいね。
うれしいな。
ありがとう。

3 心をこめて言葉をかけよう

交代で、「ぼかぼか言葉」を掛け合ってみよう。

毎日、練習したら、
できなかった鉄ぼうが、
できるようになったよ。

言葉をかける人

言葉を受けられる人

2 どんな言葉のかけ方がいいかな

こんな絵が
かきたよ。

かわいい絵だね。

あは、
へんなの。

4 「ぼかぼか言葉」を掛け合つて、
よかったことを話し合おう

「ぼかぼか言葉」を
かけたらー。

「ぼかぼか言葉」を
かけてもらつたらー。

5 他の人にも「ぼかぼか言葉」を
かけてみよう

家の人のすてきなところを見つけて、「ぼかぼか言葉」をかけてみましょう。

32

3年「心を通わそう 『ぼかぼか言葉』を掛けてなかよくなろう」p.32-33

自分のことを知ってもらったり、
相手との関わり方を意識したりすることは、
一人一人が安心して過ごすことのできる
クラスづくりにつながります。

心を通わそう

- 1年「ともだちと なかよく すごそう」p.28-29
- 2年「友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう」p.34-35
- 3年「『ぼかぼか言葉』を掛けてなかよくなろう」p.32-33
- 4年「相手のことを思いやって声をかけてみよう」p.34-35
- 5年「相手のことを思いやって言葉をかけよう」p.36-37
- 6年「相手の気持ちを考えて言葉をかけよう」p.38-39

